

平成 27 年 1 月 3 日

## 車掌用ドアが開いた状態で列車が走行していたと申告を受けた事象について

1 月 2 日 19 時 10 分頃、千歳線 千歳駅ホームにてお客様より「車掌用のドアが開いた状態で列車が出発していった」と、あとから到着した普通列車の車掌が申告を受けました。

調査したところ、千歳駅を先に出発した快速エアポート 182 号において、車掌用ドアが完全に閉じていなかった可能性のあることが判明しました。

なお、この事象により列車から転落されたお客様や怪我をされたお客様はいらっしゃいませんでした。

1. 発生日時 平成 27 年 1 月 2 日(金)19 時 10 分頃  
(上記時刻は当該列車の千歳駅出発時刻、定刻より 16 分遅れ)
2. 発生場所 千歳線 千歳駅～南千歳駅間
3. 当該列車 快速エアポート 182 号  
(札幌 18 時 25 分発 新千歳空港行き 5 両編成)
4. 発生状況
  - ・当該列車の車掌は、千歳駅出発に際して 4 号車車掌用スペースでお客様用ドアを閉めました。1 号車のお客様用ドア 1 枚が閉まりきらなかったため、ホーム上を移動して状況の確認に向かいました。このとき、4 号車の車掌用ドアを閉めたつもりでしたが、閉まったことの確認はせず、施錠もしませんでした。
  - ・1 号車のお客様用ドアの状況を確認後、車掌は 1 号車運転室でお客様用ドアを閉めて列車を出発させ、次の南千歳駅までの間に 4 号車車掌スペースへ戻りましたが、車掌用ドアは閉まっておりました。また、列車にご乗車のお客様から「車掌用ドアが開いていた」旨の申告はありませんでした。
  - ・当該列車の車掌用ドアが開いていた旨は、あとから 19 時 12 分頃に千歳駅に到着した 手稲 17 時 41 分発 苫小牧行き普通列車(定刻より 14 分遅れ)の車掌に対し、千歳駅ホームにいらしたお客様から申告がありました。
5. 今後の対応 車掌に対し、車掌用スペースから離れる際には、確実に施錠を行うよう指導してまいります。